

第93期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
業績等(連結)の推移	3
連結財務諸表の要旨	4
特集	5
トピックス	6
株主メモ	9
会社概要・株式の状況	10



新日鐵住金

しんにってつすみきん

株主の皆様へ



代表取締役社長 **進藤 孝生**

株主の皆様の日頃の御理解・御支援に、心より御礼申しあげます。
新日鐵住金(株)は、この10月に発足から5年を迎えました。この間、「技術力」「コスト競争力」「グローバル対応力」を競争優位性の柱とし、国内事業と海外事業を両輪として成長を目指してまいりました。世界の鉄鋼業界の競争環境は急速に変化しておりますが、当社は引き続き企業価値の向上に向けて諸施策を着実に推進してまいります。

(当上半期の事業・決算の概況)

平成29年度上半期(本年4月1日から9月30日まで)の事業の概況につきまして、御報告申しあげます。

当上半期の世界経済は、米国において個人消費を中心に景気の着実な回復が続き、欧州においては景気が底堅く推移したことに加え、中国では一部の指標の伸びに鈍化が見られたものの各種政策の効果もあり、景気は安定的に推移したこと、新興国においても緩やかな景気回復が継続したことから、一部の国・地域における政治情勢等に起因する不透明感が残るものの、全体としては緩やかな景気回復が継続しました。

日本経済は、個人消費・設備投資ともに持ち直しの動きが見られ、企業の生産活動の改善も見られるなど、緩やかな回復基調が継続しました。

国内鉄鋼需要については、自動車向けを中心に堅調に推移しました。

海外鉄鋼需要については、米国や欧州をはじめ総じて堅調に推移し、中国では高い水準が継続しました。国際鉄鋼市況については、上期期首において在庫調整に起因した一時的な軟化の動きが見られたものの、第2四半期においては、特に中国での堅調な内需を背景に上昇しました。

こうした状況下、当上半期の連結業績につきましては、売上高は2兆7,450億円、営業利益は999億円、経常利益は1,576億円及び親会社株主に帰属する四半期純利益は991億円となりました。

(当第2四半期末の剰余金の配当)

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、本報告書3頁に記載の配当の基本方針に従い、第1四半期決算発表時(本年7月28日)の公表時点からの増益を踏まえ、既公表の25円から5円増額し、1株につき30円とさせていただくことと致しました(連結配当性向26.7%)。

(今後の見通し)

世界経済は、米国において景気の着実な回復が続き、欧州においては景気が底堅く推移していることに加え、中国では各種政策の効果もあり、景気は安定的に推移し、新興国においても緩やかな景気回復が継続していることから、一部の国・地域における政治情勢等に起因する不透明感はあるものの、全体としては引き続き緩やかな回復が継続するものと想定されます。

日本経済は、一部で人手不足に起因する活動制約はあるものの、個人消費・設備投資ともに底堅く推移し、緩やかな回復が見込まれます。

国内鉄鋼需要は、自動車向けを中心に、建設・土木向けも含め堅調に推移するものと見込まれます。また、海外鉄鋼需要は、総じて堅調に推移するものと見込まれますが、高い水準で推移してきた中国については今後の動きを注視していく必要があります。

こうしたなか、平成29年度通期の連結業績につきましては、「2017年中期経営計画」の最終年度として、安定生産の継続による堅調な鉄鋼需要の捕捉、コスト改善の着実な実行、海外事業を含めたグループ会社の更なる業績改善など、最大限の経営努力を継続することに加え、鋼材価格の改定について、需要家の皆様に御理解いただけるよう丁寧な対応を継続し「再生産可能な適正マージン」の確保を図ることにより、第1四半期決算発表時と同様に、連結経常利益3,000億円以上を目指したいと考えております。

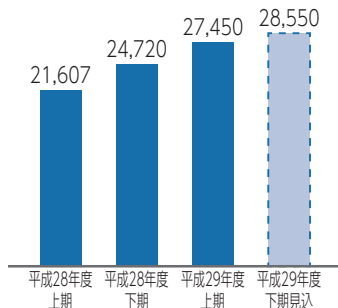
また、当期末の配当につきましては、第3四半期決算発表時に、年度見通しの当期純利益を踏まえて判断し、公表する予定です。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ、以上の諸事情を御賢察のうえ、今後とも御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

業績等(連結)の推移

売上高

■ 売上高(億円)

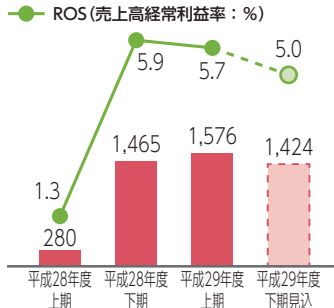


平成28年度	平成29年度見込
46,328億円	56,000億円 【対前年度 +9,672億円 (+21%)】

鋼材価格の上昇、平成29年3月の日新製鋼(株)の連結子会社化に伴い、売上高は拡大(対前年度+21%)。

経常利益・ROS

■ 経常利益(億円)

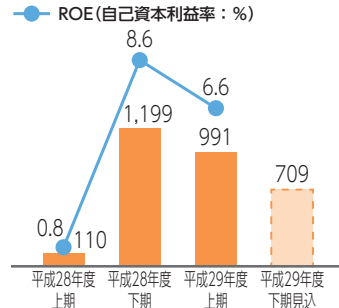


平成28年度	平成29年度見込
経常利益 1,745億円	経常利益 3,000億円 【対前年度 +1,255億円 (+72%)】
ROS 3.8%	ROS 5.4%

コスト改善、マージン回復、日新製鋼(株)の連結子会社化を含めたグループ会社損益改善等を背景に、対前年度+1,255億円(+72%)の大幅増益を見込み、ROSは5.4%程度となる見込み。

当期純利益・ROE

■ 親会社株主に帰属する当期純利益(億円)



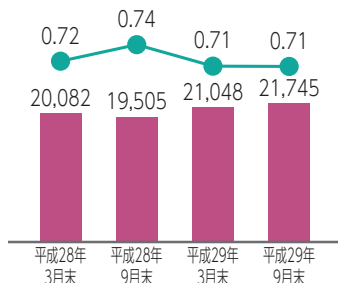
平成28年度	平成29年度見込
1,309億円	1,700億円 【対前年度 +391億円 (+30%)】

経常利益の増益を受け、当期純利益は、対前年度+391億円(+30%)の増益を見込む。さらなる資本効率の改善に向けた取組みを継続していく。

D/Eレシオ・有利子負債残高

● D/Eレシオ(有利子負債自己資本比率: 倍)

■ 有利子負債残高(億円)



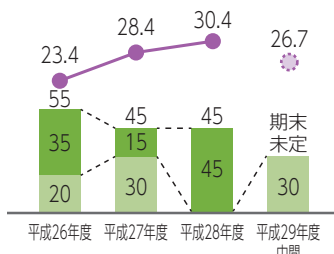
日新製鋼(株)の連結子会社化に伴い、有利子負債は増加(平成29年3月末時点: +2,618億円)したが、財務体質(ex.D/Eレシオ)の改善は着実に進捗中。

1株当たり配当金・配当性向

■ 1株当たり配当金(円)(中間)

■ 1株当たり配当金(円)(期末)

● 連結配当性向(%)



(注) 平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、平成26年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり配当額を算定。

<平成29年度通期業績見通し>

平成29年度通期の連結業績は、売上高は5兆6,000億円、経常利益は3,000億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,700億円を見通しております。

<配当の基本方針>

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要資金を、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配分を実施する方針と致しております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20~30%を目安と致します。なお、第2四半期末の剰余金の配分は、中間期業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

連結財務諸表の要旨

■ 連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結会計期末 (平成29年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	23,727
固定資産	51,042
資産合計	74,770
負債の部	
流動負債	21,212
固定負債	19,444
負債合計	40,657
純資産の部	
株主資本	26,816
その他の包括利益累計額	3,741
非支配株主持分	3,554
純資産合計	34,113
負債純資産合計	74,770

■ 連結損益計算書

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
売上高	27,450
売上原価	23,969
売上総利益	3,481
販売費及び一般管理費	2,481
営業利益	999
営業外収益	944
営業外費用	368
経常利益	1,576
特別損失	29
税金等調整前四半期純利益	1,546
法人税等	400
四半期純利益	1,145
非支配株主に帰属する四半期純利益	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	991

■ セグメント情報 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

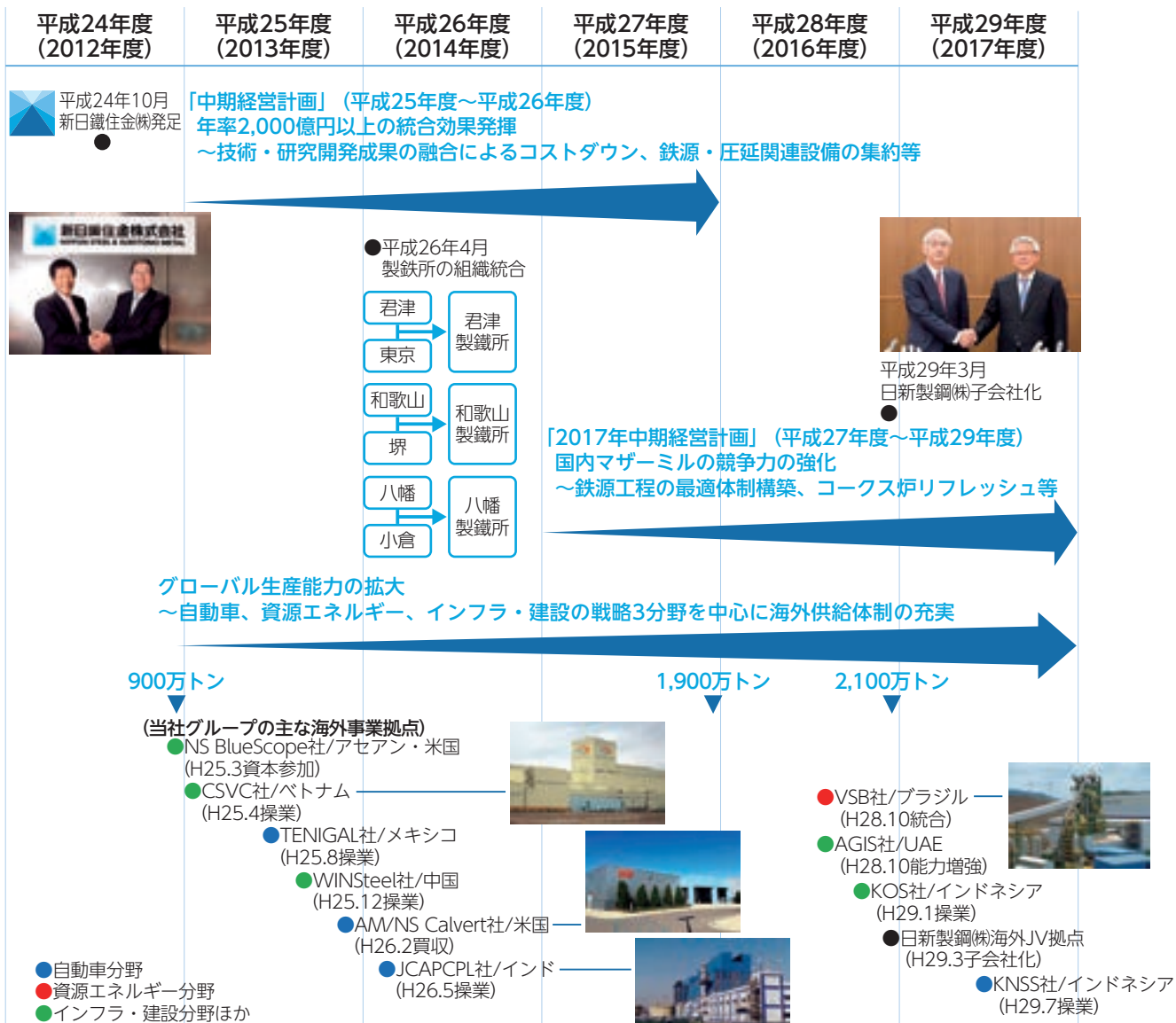
(単位：億円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	製鉄	エンジニア リング	化学	新素材	システム ソリューション			
売上高	24,380	1,341	983	179	1,165	28,049	△598	27,450
セグメント利益 (経常利益)	1,287	19	93	11	107	1,519	56	1,576

※金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

特集「新日鐵住金発足後5年の歩み」

『総合力世界No.1の鉄鋼メーカー』の実現に向けて



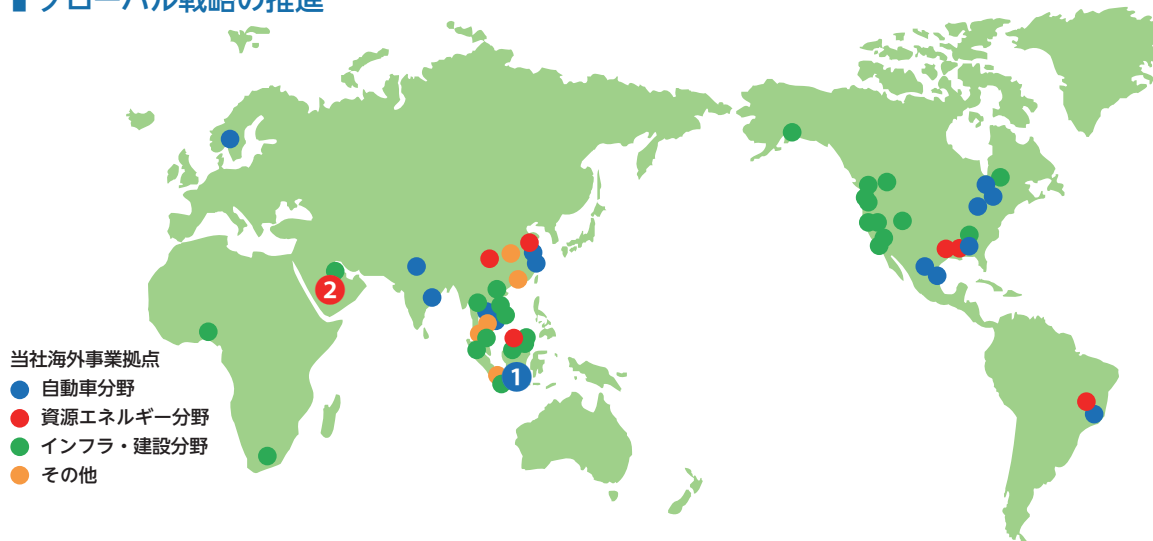
トピックス

当上半期における当社グループの活動状況を御紹介致します。

製鉄事業

「2017年中期経営計画」で掲げた諸施策等の推進状況を御報告致します。

■ グローバル戦略の推進



① インドネシア自動車用鋼板製造・販売会社 (KNSS社) の営業運転の開始

当社とクラカタウ社は、インドネシアにおける自動車用鋼板製造・販売事業を行う合弁会社「PT KRAKATAU NIPPON STEEL SUMIKIN」(KNSS社)を設立し、工場の建設・立ち上げを進めておりましたが、7月24日に営業運転を開始致しました。高級・高品質鋼板の現地生産化により、インドネシア自動車産業のさらなる発展に貢献していく所存です。



KNSS社

② サウジアラビア鋼管製造・販売会社 (NPC社) が累計出荷 500万トン達成

サウジアラビア王国にある当社と現地資本の鋼管製造・販売を行う合弁会社「National Pipe Company Limited」(NPC社)は、昭和55年の操業開始以来37年間で累計出荷量500万トンを達成しました。これを記念し、現地で記念式典が開催されました。

NPC社は油田開発用の大径鋼管を製造・販売し、同国の国営石油会社サウジアラムコ社などに長年にわたり鋼管を供給しています。



記念式典の様子

■ 技術先進性の発揮

NSスーパーフレーム工法®の進化について

当社は、スチールハウス工法（NSスーパーフレーム工法®）の4階建て用に開発した「高強度耐力壁」の用途の拡大に取り組んでおります。この「高強度耐力壁」の活用により、平屋ではこれまでにない大空間が可能となり、3階建て建屋では設計自由度が拡大しコストダウンが可能となるなど、NSスーパーフレーム工法®はさらなる進化をとげています。



適用例：かずさみどりのもり保育園（君津製鐵所）

中国江蘇省の劇場外装に過去最大面積の意匠性チタン製品TranTixii®が採用

当社は、建築物の屋根・外装へのチタン適用の拡大を推進しております。当社の意匠性チタン製品TranTixii®を使用した三菱ケミカル(株)製のチタン複合板が中国江蘇省の「江蘇大劇院 Jiangsu Grand Theatre」に採用されました。



江蘇大劇院 Jiangsu Grand Theatre（中国江蘇省）

エンジニアリング事業

新日鉄住金エンジニアリング(株)は、広島中央環境衛生組合と事業契約を締結した高効率ごみ発電施設の建設に着手致しました。本施設は、最終処分量ゼロシステムを実現できる高い資源化率を有し、災害時対応や環境学習の拠点にもなる点が特徴です。



広島中央エコパーク 完成予想図

化学事業

新日鉄住金化学(株)は、高画質液晶ディスプレイに使用されるブラックフォトレジストインキ「エスファイン」の開発で、第49回「市村産業賞功績賞」を受賞しました。



贈呈式の様子

新素材事業

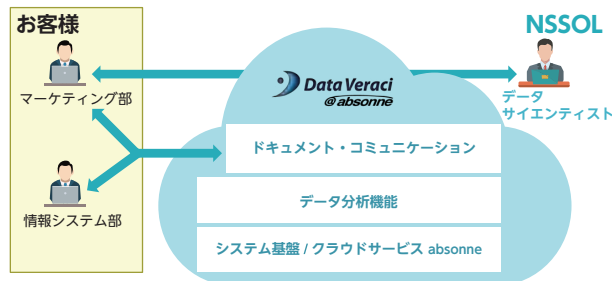
新日鉄住金マテリアルズ(株)は、鉄系素材を世界最高水準の極薄箔として提供しております。主力商品であるハードディスクドライブのサスペンション向け極薄ステンレス箔の他、スマートフォンに内蔵するばね材向け高強度ステンレス箔等を展開しております。



ハードディスクドライブのサスペンション
(ハッチンソンテクノロジー社提供)

システムソリューション事業

新日鉄住金ソリューションズ(株) (NSSOL) は、お客様がマーケティングや与信管理業務等の高度化を進めるために、AI (Artificial Intelligence: 人工知能) や機械学習を効果的に業務に活用するためのソリューション展開を進めております。



データ分析統合環境 Data Veraci@absonne

環境・社会への取組み

「環境・社会報告書2017～SDGsとともに」の発行

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」達成に向け、当社グループが取り組んでいる様々な事例を記載しております。

私たちは、様々な社会のステークホルダーの皆様と双方向のコミュニケーションを深めることにより持続可能な社会の構築に取り組んでまいります。



<http://www.nssmc.com/csr/index.html>

教員向け企業研修の実施

当社は日本経済団体連合会の関係団体である経済広報センターを通して、毎年小中学校の先生を受け入れています。本年は、過去最高の55名にお越しいただき、7カ所の製鉄所・製造所で設備の見学にとどまらず、当社の企業経営の考え方や実務内容、人材育成や安全・環境・防災への取組み、CSR活動等について理解を深めていただきました。



研修の様子 (鹿島製鐵所)

株主メモ

株主優待について

当社は、株主の皆様の御支援に感謝するとともに、当社グループの活動に関する御理解をより深めていただくこと等を目的として株主優待制度を導入しております。

詳細につきましては、対象の株主様に御案内申し上げます。

見学会・説明会

項目	内容	案内回数 (実施時期)	案内対象
工場見学会 への招待 (抽選)	製鉄所、製造所の見学に招待致します。	年2回案内 (3~4月頃、 10~11月頃)	毎年3月末・9月末において 1,000株以上所有の株主様
経営概況説明会 への招待 (抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催致します。	年2回案内 (2~3月頃、 7~9月頃)	

各種優待

項目	内容	案内回数 (実施時期)	案内対象
当社カレンダーの 送付	当社カレンダーを送付致します。	年1回送付 (11月下旬~ 12月初旬)	毎年9月末において 500株以上所有の株主様
鹿島アントラーズ 観戦招待 (抽選)	J1リーグ戦 (ホームゲーム又はアウェイ ゲーム) に招待致します。	年2回案内 (4~8月頃、 8~12月頃)	毎年3月末・9月末において 5,000株以上所有の株主様
紀尾井ホール演奏会 への招待 (抽選)	「紀尾井ホール室内管弦楽団」の定期演奏会 をはじめとした各種演奏会に招待致します。	年2回案内 (4~7月頃、 9~2月頃)	

株式に関する「マイナンバー制度」の御案内

平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主様のマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先は以下のとおりです。

(証券口座にて株式を管理されている株主様) お取引の証券会社

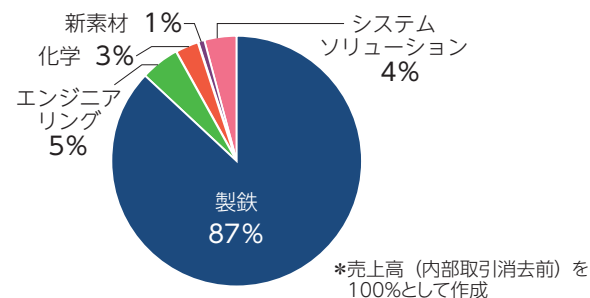
(証券会社との取引がない株主様) 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 0120-785-401 (フリーダイヤル)

会社概要・株式の状況

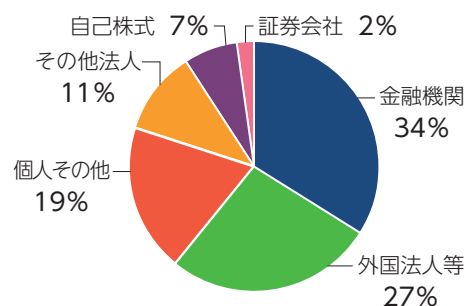
会社概要

商号	新日鐵住金株式会社 (NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
資本金	4,195億円
事業内容	製鉄、エンジニアリング、化学、新素材、システムソリューションの各事業
従業員数(連結)	92,309名(平成29年3月31日現在)
上場証券取引所	東京、名古屋、福岡、札幌
証券コード	5401
発行可能株式総数	2,000,000,000株
発行済株式の総数	950,321,402株(平成29年9月30日現在)
株主数	449,109名(平成29年9月30日現在)

事業別売上高構成比 (平成29年度上半期実績)



株主構成別持株比率 (平成29年9月30日現在)



大株主の状況 (平成29年9月30日現在)

氏名又は名称	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	42,701	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,739	3.8
日本生命保険相互会社	24,532	2.6
住友商事株式会社	18,269	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	16,711	1.8
株式会社みずほ銀行	16,299	1.7
株式会社三井住友銀行	14,647	1.5
明治安田生命保険相互会社	13,960	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,655	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	12,973	1.4
計	209,490	22.0

■ 新日鐵住金グループ企業理念

基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

経営理念

1. 信用・信頼を大切に作るグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

株式事務の取扱いについて

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日及びその他取締役会が定める日
単元株式数	100株（平成27年10月1日より100株に変更致しました。）
電子公告を掲載するウェブサイト	http://www.nssmc.com/
定款及び株買取規程	当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」に掲載しています。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱所（郵便物送付先、電話照会先）	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401（フリーダイヤル） 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

●住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払い

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●単元未満株式の買取り・買増しに係る手数料

別途定める金額（当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」に掲載していますので御参照ください。）

新日鐵住金株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

TEL:03-6867-4111(代表)

ウェブサイト：<http://www.nssmc.com/>



環境に優しい「植物油インキ」を使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。